



# Holoeyes MD

管理医療機器 汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム

販売名：医療用画像処理ソフトウェア Holoeyes MD 認証番号：302ADBZX00011000





## 医用画像データを空間的に3D表示、閲覧

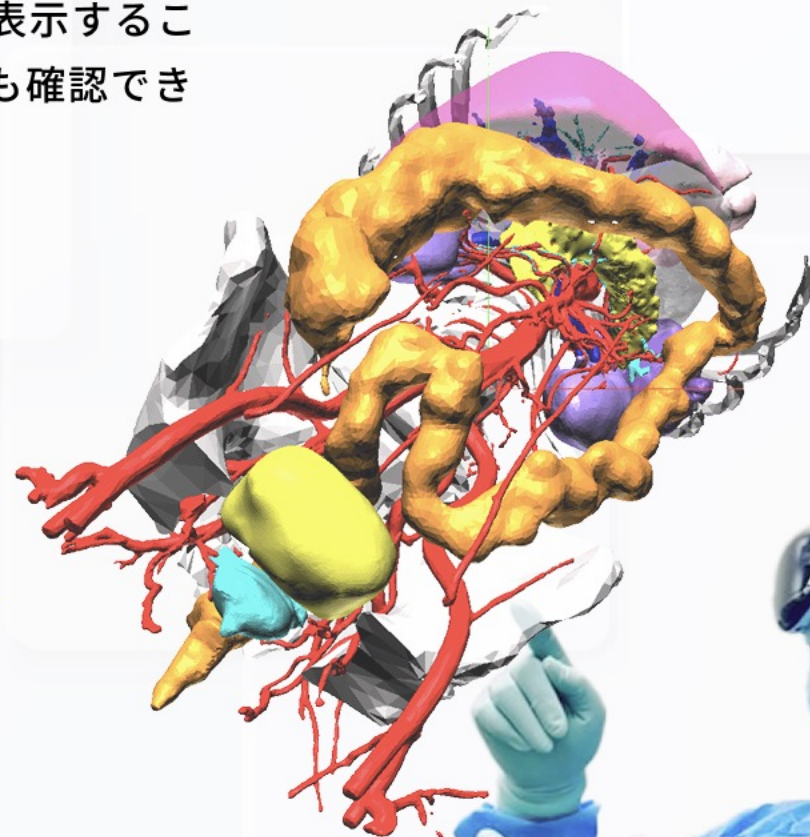
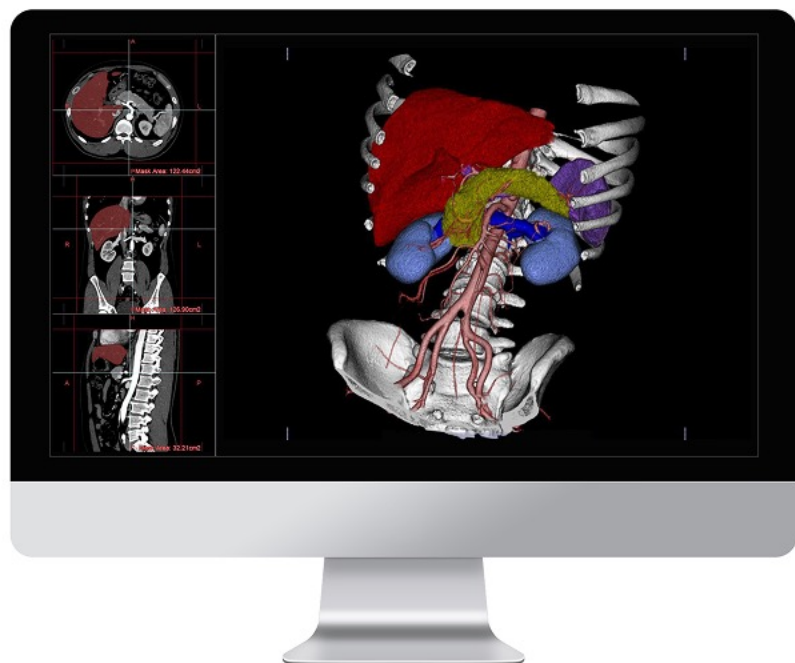
CT・MRIなどの画像診断装置で撮影した医用画像から臓器や腫瘍の部位を空間座標化して書き出し、専用サービスサイト上で自動的にVR化。

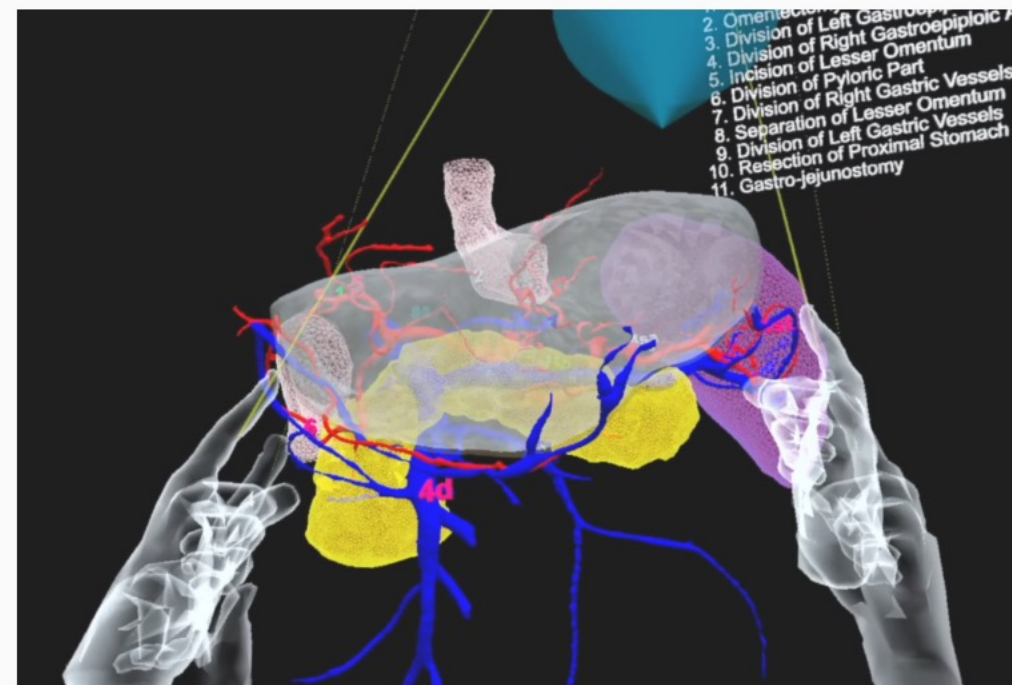
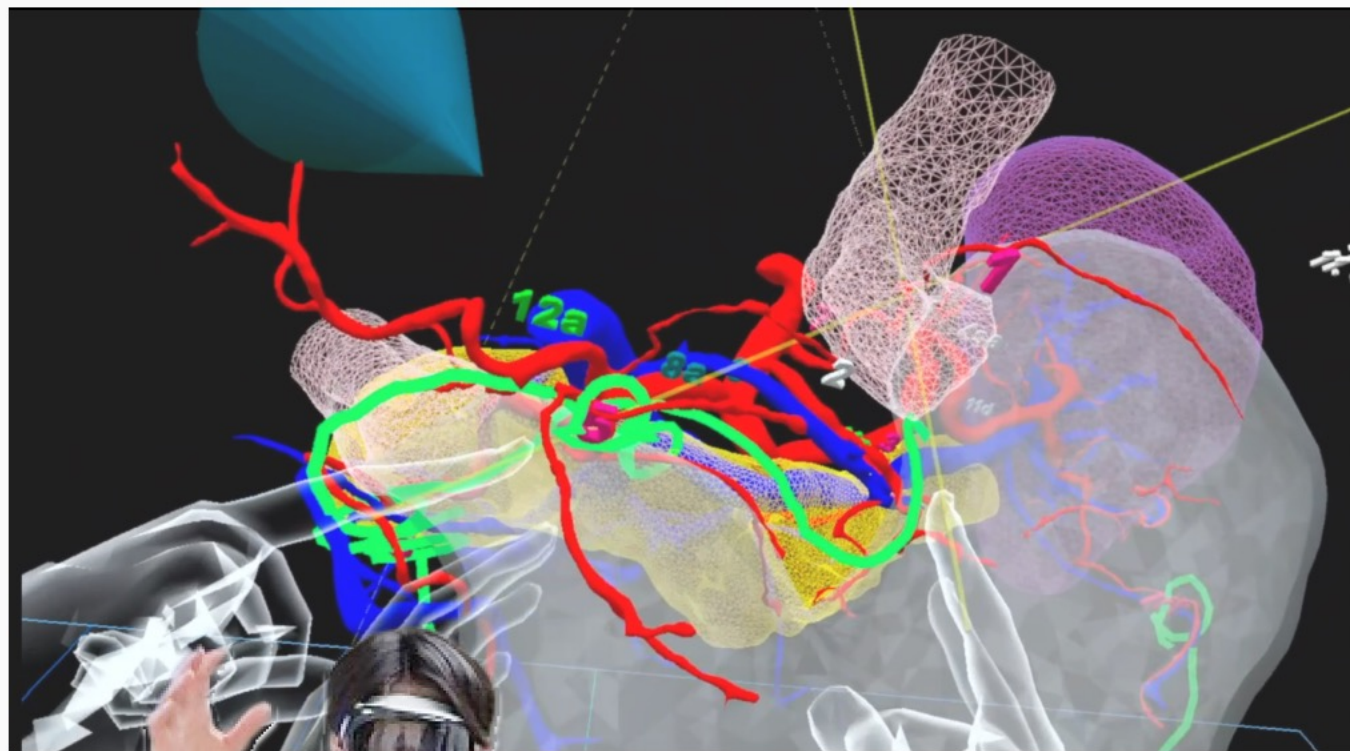
仮想空間および現実空間にVR化した医用画像データを3D表示し、市販のXRウェアラブル端末で閲覧できます。



# 平面では伝わりにくい情報を3Dで把握

奥行き感のない平面モニタ画面では、立体空間的な解剖の理解が不十分となる恐れがありますが、Holoeyes MDを用いて医用画像を3Dモデルで表示することにより、病態の特徴や臓器の奥行きなど、360度どの角度からでも確認でき平面上では伝わりにくい情報を得ることができます。





## 体感で理解を深め、記憶に残す

レコーディング機能\*で、立体空間内で3Dモデルとユーザーの動きを音声とともに記録すれば、レコーディングデータを360度自由な位置・角度から閲覧が可能。ユーザーの動きや視点を追従しながら実際に手足を動かし、追体験することができます。

\*レコーディング機能対応のXRウェアラブル端末のみ使用可能

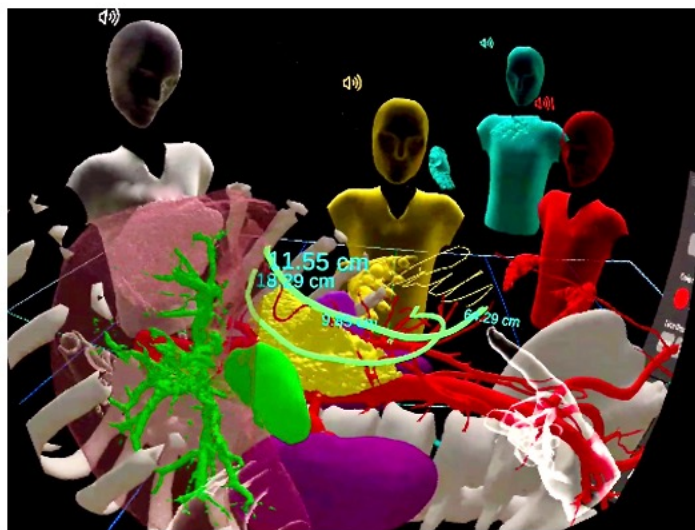


# 3Dデータを共有しながら、複数人で同時セッション

オプション機能「Holoeyes VS」により、同一の3D空間上で、複数のユーザー同士が同じ3Dモデルデータを閲覧し、手技の共有やカンファレンスを行うことができます。Wi-Fi環境を利用してXRウェアラブル端末同士をつなげるため、場所を選ばず、遠隔での利用も可能です。

※ Holoeyes VSは非医療機器機能のため、診療には使用できません

立体空間内でのバーチャルセッションも可能







# USE CASE



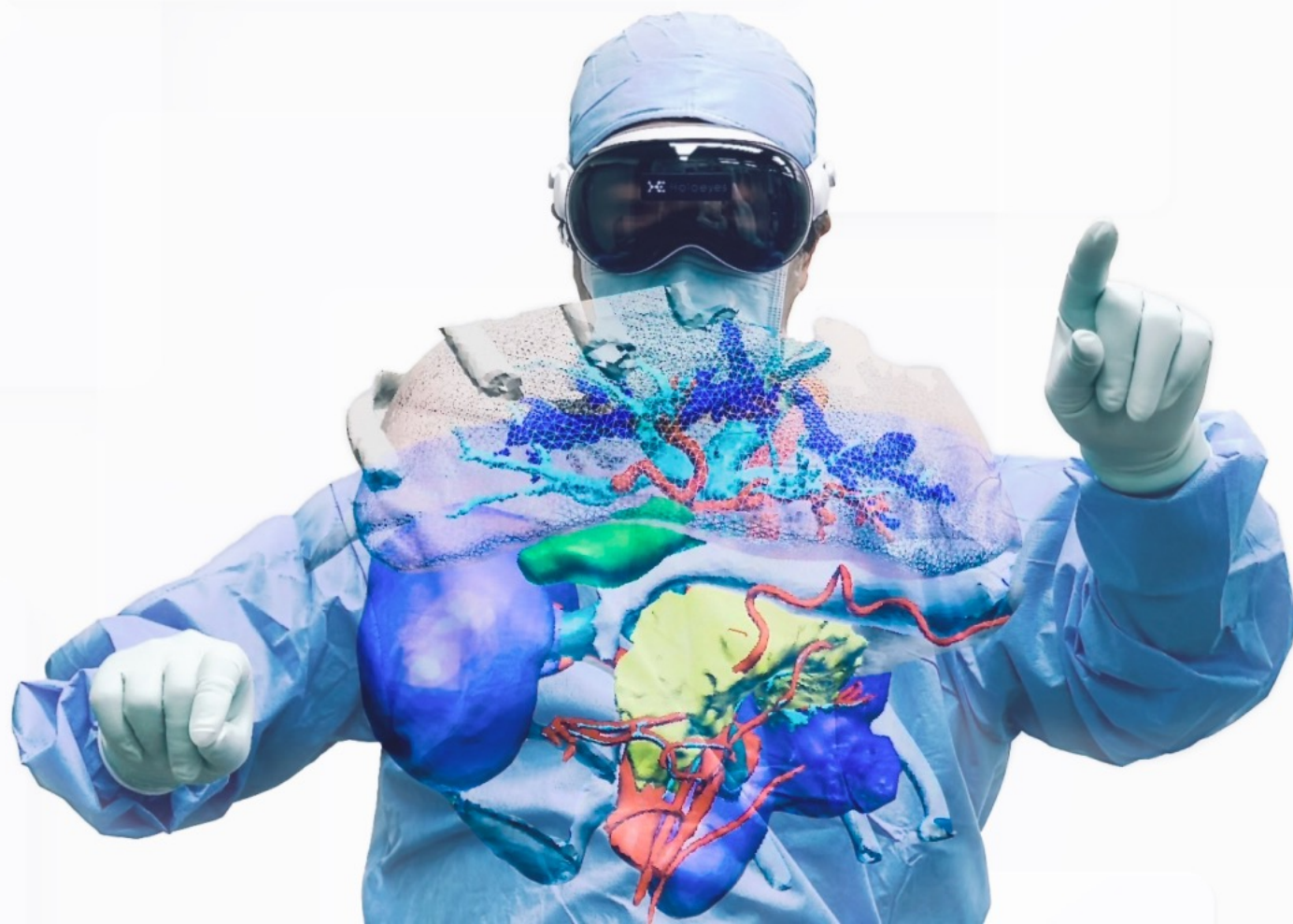
## 外科から教育・研究まで、幅広く対応

Holoeyes MDは、術前シミュレーションや術中参照などの外科領域で用いられているほか、遠隔医療カンファレンス、医学教育/研修、トレーニング、医学研究などにも活用されています。



## 製品・サービスに関するお問い合わせ

資料請求、デモンストレーション・説明会などのご希望も承っております。  
右記QRコードのフォームからお問い合わせください。





© 2025 Holoeyes Inc. All rights reserved.